



第1回定例会

この間、市長の施政方針に対する各派の代表質問並びに市政に対する一般質問が行われ、市長の政治姿勢をたどすとともに、新年度の行財政運営の方向を示す平成25年度当初予算など市長提出議案27件、議員提出議案4件について慎重に審議した結果、「門真市議会議員政治倫理条例の制定について」の議員提出議案第3号及び第4号は、第3号を賛成多数で原案のとおり可決し、第4号は議決不要となりました。その他の議案については、いずれも原案のとおり可決し、3月22日に閉会しました。



当初予算など30議案を可決

予算総額831億円

平成25年第1回定例会は、2月26日から3月22日までの25日間にわたり開会しました。

今回の定例会に提出された平成25年度の当初予算は、下表のとおり総額830億9017万7000円の規模となっています。

興を重点施策とし、市長が7月に任期満了を迎えることから、骨格的予算編成が行われました。一般会計の予算総額は前年度比8.6%、49億7000万円、減の531億1400万円です。主な事業は、門真市立こども発達支援センター整備、住宅市街地総合整備、子ども悩み相談サポートなどです。本年度予算は、本会議において一般会計及び国民健康保険事業、後期高齢者医療事業の各特別会計が反対討論の後、賛成多数で、残り3特別会計及び水道事業会計については、いずれも全員異議なく可決しました。なお、一般会計予算の各常任委員会での審査概要は次のとおりです。

生活保護を推行政

民生常任委員会では、生活保護の適正化推進事業の概要をたどしたところ、生活保護の適正な実施を図るため、適正化推進支援員を配置し、ケースワーカーと連携して、主に不正受給が疑われるケースの調査等を行い、保護受給世帯の状況把握の強化に努めている。また、情報の多くは、市民から寄せられており、25年度からは、不正受給情報や貧困ビジネスによる被害情報など、市民からの通報窓口として、(仮称)生活保護情報専用ダイヤル開設のための専用電話機1台を課内に設置予定であり、関係部局・機関と調整後、速やかに実施することとした。

このほか、認可外保育施設利用者への補助方法、防犯灯LED化補助事業の概要などについて質疑、答弁がありました。建設文教常任委員会では、学校司書の業務内容をたどしたところ、非常勤嘱託職員として、小・中学校各1人の計2人が雇用され、1日4時間、週5日、1人当たり2校で業務を行う。具体的には、勤務校の校長の指導監督のもと、学校図書館での図書管理・貸出返却業務、児童への読み聞かせ、選書についての提案・助言に加え、授業における調べ学習の支援などを行い、児童・生徒が自ら学ぶための機能の充実を図ることとした。

次に、門真第9水路整備の住民説明会の内容をたどしたところ、ヒナダや太鼓橋などの歴史的な面影を取り入れた水路整備全体計画に基づく親水空間の整備について、水路の幅員を変更しない整備、水路の幅員を狭くして道路幅員を広げる整備、水路を暗渠化して道路とする整備の3例を説明し、整備事例として大東市の御領水路を紹介したところ、

平成25年度当初予算総括表 (単位: 千円)

会計名	25年度	24年度	増減額	増減率%
一般会計	53,114,000	58,084,000	△4,970,000	△8.6
国民健康保険事業	18,139,672	18,143,052	△3,380	△0.0
公共下水道事業	6,340,285	5,901,986	438,299	7.4
都市開発資金	783	783	0	0.0
公共用地先行取得事業	836,036	820,768	15,268	1.9
後期高齢者医療事業	1,277,847	1,328,870	△51,023	△3.8
水道事業会計	3,381,554	3,694,744	△313,190	△8.5
総計	83,090,177	87,974,203	△4,884,026	△5.6

とのことでした。

このほか、28年度開設予定の(仮称)市立総合体育館の基本設計・実施設計業務の委託業者の選定方法、放置自転車街頭指導員配置の考え方などについて質疑、答弁がありました。

総務水道常任委員会では、地域コーディネーター4人が担う役割をたどしたところ、自治基本条例の制定及び地域会議の設置を視野に入れ、地域と行政間のさまざまな調整役や、市と市民をつなぐパイプ役、広報・広聴活動の担い手としての活動などをを行う。これらの活動を通じて、市と地域住民がともに地域の課題解決に向けた協議を行い、協働によるまちづくりの実効性を高め、地域の活性化並びに発展に結びつけることで、市民力、地域力の向上につながり、自律発展都市の形成が図られるものと考えているとのことでした。

このほか、障がい者法定雇用率の本市の状況、ガラスケを活用した原動機付自転車のナンバープレート導入の目的などについて質疑、答弁がありました。

緑風クラブ

五味 聖二

大倉 基文

日本共産党

亀井 淳

福田 英彦

井上まり子

豊北 裕子

公明党

内海 武寿

岡本 宗城

武田 朋久

議員紹介

(会派別・議席順)

無所属

吉水 丈晴

今田 哲哉

門真市民クラブ

戸田 久和

日高 哲生

田伏 幹夫

木津 英之

自由民主党

佐藤 親太

土山 重樹

中道 茂

春田 清子

高橋 嘉子

鳥谷 信夫

平岡久美子

代表質問

3月7日、8日の本会議において、各会派の代表者が施政方針に対する質問を行いました。
主な質問と答弁の要旨を掲載しています。
(大会派・公党順)

公明党



質問者 平岡久美子

武田 朋久
岡本 宗城
内海 武寿
高橋 嘉子
春田 清子
鳥谷 信夫

効率的な財政改革について

問 公民協働を包含したスケールの大きな改革への考えは。
答 全庁的な取り組みや徹底した情報公開を進め、市民参画のもと行政評価を深め、PDCAサイクルの一層の機能強化を図る。

市民公益活動の促進について

問 市民公益活動の具体的な取り組みは。
答 現在の出前講座や市民講座に加え、25年度より、地域コーディネーターの配置や市民大学の開校を予定している。

学校施設の充実にについて

問 国で創設を進めている長寿命化改良事業活用への考えは。
答 現在、制度概要により研究を進めており、今後、具体的な補助メニュー等を勘案し考える。

発達障がい児の支援について

問 現在の取り組み、また今後拡充する点は。
答 現在の進捗状況と今後の見

通しは。

答 旧第一中学校の除却を実施中で今後、駅前広場や交流広場を整備し、既存商店街の活性化や老朽建築等の建てかえ促進を誘導し、本市の顔づくりとして賑わいのあるまちの創出を図る。

問 旧第一中学校の除却を実施中で今後、駅前広場や交流広場を整備し、既存商店街の活性化や老朽建築等の建てかえ促進を誘導し、本市の顔づくりとして賑わいのあるまちの創出を図る。

問 国の24年度補正予算の獲得による本市の財政効果額は。

答 約9億3000万円である。

問 本市の新体育館建設の位置づけと同体育館の特徴等は。

答 生涯スポーツ推進拠点をコンセプトとして、地域コミュニティを活性化する場合、まちづくりの核となる場と位置づけている。

問 幼児体育室、防災備蓄倉庫等を有し、平常利用と非常時の備えとの融合を目指す。

問 門真回地の建つかえについて

答 先進的な機能を取り入れたまちづくりの要望の取り扱いは、住民の安全・安心の確保やコミュニティの活性化、低炭素化のまちづくりとなるよう府に

問 対し、まちづくり会議や事務担当者の事前打ち合わせの場などで要望している。

問 防災・減災対策について

答 災害時を想定した訓練や研修の取り組み、またハザードマップの見直しへの考えは。

問 市の地域防災計画の修正に合わせ、訓練や研修の見直しを行う。同マップは24年度内の発行に向け、見直しを進めている。

問 防犯対策について

答 センサーつき防犯灯とLED防犯灯の取り組み、また防犯カメラの管理等の方法は。

男女共同参画社会の推進

問 本市の女性管理職と審議会等の女性の割合等と、男女共同参画センター設置の考えは。

答 24年4月1日現在、課長級以上の女性職員の割合は16・7%、審議会等は20・8%で増加

問 しており、引き続き積極的な登用を推進する。同センターの設置は、今後、市の公共施設のあり方の中で検討していく。

問 生涯学習複合施設建設の方向性として、めざせ世界へはばたけ

答 生涯学習複合施設は、文化・学習の交流拠点とし、図書館機能や文化会館機能を備えた複合施設として計画中である。

問 めざせ世界へはばたけ事業は、全ての中学生の英語学習への意欲を高め、グローバル化に対応できる人材育成につながる事業として取り組んでいく。

問 高齢者福祉の充実にについて

答 地域通貨「連」を用いた本市独自の元気ポイント制度は、介護保険制度外の実施の可能性を調査研究していく。

問 産業振興の推進と雇用促進

答 中小企業サポートセンターの活動実績は。

問 24年10月設立以来、25年1月で計644企業を訪問しセンターとしての役割を発信するとともに、企業の悩みや課題の聞き取り調査を行った。市内外から受注企業の紹介を依頼されるなど、着実に効果を上げている。

問 雇用促進への考えは。

答 門真ネットワークにて、門真ネット参加企業やあらゆる支援機関等に市内企業の動向や国・府・市の施策紹介等を情報発信しており、今後も速やかな情報提供を行う。

日本共産党



質問者 福田 英彦
豊北 裕子
井上まり子
亀井 淳

門真の形を変える大阪都構想について

問 大阪維新の会の「大阪都構想推進大綱」では、15年度に大阪市と堺市域に特別区を設置し、大阪都へ移行、16年度以降には隣接市町村も再編し、さらに広げていくとしている。「グレート大阪構想」と呼ばれるもので、その対象に本市も含まれている。再編は30万人規模の自治体へ合併・再編して特別区とすることが前提で、門真が無くなることを意味する。固定資産税や法人市民税などの財源が大阪都に吸い上げられ、6割程度が配分される枠組みであり、市の財源は確実に減少し、市民サービスの大幅後退が危惧される。このような「グレート大阪構想」に参加しないという意思を明確に示すべきと考えるが、どうか。

答 大阪府と大阪市による法定協議会での議論、方向を見定め、財源調整機能の行方や住民サービス等、具体的な内容を明らかにし、利点や問題点を整理し、市民に情報提供することが重要であると考えており、現段階での参加・不参加の意思決定は市政を預かるものとして、無責任な対応と認識している。

「開発会社」への30億円もの建物（旧ダイエー）補償は適切か

問 中町地区のまちづくりにおいて、老朽建築物等買収補償費が補正予算で計上されているが、14億円余が旧ダイエーの建物補償費となっている。24年度約15億円の補償費との総額は30億円となり、莫大な補償費と言わざるを得ない。その補償を受けるのは幸福町・垣内町・中町まちづくり協議会に参加する「開発会社」で、建物は2年半前にダイエーから取得したもので、まちづくり協議会と「開発会社」との関係について「整理と見直しが必要」との認識が示されているが、総額30億円もの補償費が適切だと考えているのか。

答 中町のまちづくりを推進していく上で、新体育館の建設を初めとする公共施設施設の整備が適切だと考えているのか。

問 市長の来期に向けた決意と門真の未来像とは

答 来期も引き続き市政を担うのならば、今一度、市長の決意を。また市制50周年に当たり、市長の描く門真の未来像とは。

問 市長就任以来、組織のスリム化や人件費削減など、行財政改革に取り組み財政再建を果たしてきた。2期目の総仕上げを迎えた今、現状の問題と課題を真正面から見極め、これまでの実績や成果を踏まえ、第5次総合計画の施策の結実や充実に向けて、自ら発する光で先導役を担い、さらなる発展への道程に一条の光を差し込んでいきたいと考え、渾身の覚悟をもって、来期への出馬の決意と表明を行った。今後も、持続可能な自律発展都市への変革を図り、住み続けたい・住んでみたいと言われるまちとなるよう全力を傾注していく。

問 市内犯罪件数激減への分析は

答 24年の市内のひったくり等の街頭犯罪認知件数は激減したようだが、市の分析と警察の見解は。

問 激減の要因について市としては、防犯カメラやセンサーつき防犯灯の設置、防犯パトロールなど、地域住民、警察及び防犯協議会等が防犯に関する情報の共有を図り、連携して取り組みを進めてきた成果と考えている。門真警察の見解としては、市民の自主防犯意識の高まりや、地域住民等の協働による取り組みの成果としている。

問 まちの顔づくりに向けて新橋門真プラザ建てかえを

答 市長の施政方針では同プラザの建てかえについて述べていないが、モノレル南伸の府の検討調査もあることから、建てかえの取り組みへの見解は。

問 門真市駅周辺は、23年度策定の都市計画マスタープランで本市のまちづくりの重要な整備ゾーンの一つと位置づけている。同プラザの再整備は、駅前広場や商業施設の再生により、複合的な都市機能が可能となる。また、地域の活性化や、耐震性が不足している新橋市営住宅の入居者の安全確保の点からも、急務の課題と認識しており、今後、一層の取り組みを推進していく。

問 今後のスポーツ振興について

答 本市の現状は、スポーツを自由に楽しめる場が年々減少し、できる種類も限られてきている。市民運動広場がなくなった上に、小・中学校統合による運動場の減少は、スポーツ振興の観点から問題と思うが、見解は。

問 生涯スポーツ推進拠点として、(仮称)市立総合体育館の建設に向け、取り組みを進めているところであり、市民が気軽にスポーツレクリエーション活動に参加できるよう、地域のスポーツ教室や魅力あるスポーツイベント、総合型地域スポーツクラブなどの活動促進に努めるとともに、本市の人口規模に見合ったスポーツ施設のあり方を引き続き検討していく。

◇ 質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページ(<http://www.city.kadoma.osaka.jp/shigikai/>)及び各議員のホームページをごらんください。
※ 第1回定例会の会議録は6月初旬に掲載する予定です。

一般質問



戸田 久和
(無所属)

自治会の問題について

問 自治会規約の状況は？
答 市の支援金交付の自治会数は120で、うち自治会規約ありが117、規約無しが3、市への規約提出は116、規約に定足数規定を持つのは96だった。

中央小解体工事問題での関係企業調査について

問 金川建設は「敷地内発生土を使って、基礎の埋め戻しに使用した」旨を回答したが、市はその相談を受けて許可したのか？

脱原発＝脱関電について

問 大阪府内で福島原発事故後に非関電のPPS電力を導入したのは門真市だけか？
答 その通り。昨年7月に導入。

コンビニ住民票について

問 コンビニでの住民票・印鑑登録証明書発行1枚当たりの経費は2011年度の準備経費も含めると今年3月末で1万3059円、来年3月でも1枚当たり3841円にもつく税金浪費ではないか？
答 経費はその通り。



自由民主党

質問者 土山 重樹
中道 茂
佐藤 親太

大阪府の財政状況による本市への影響について

問 橋下前知事、松井知事と維新の会のトップが続いている大阪府の財政状況が大変厳しくなっており、府の25年2月の財政状況に関する中長期試算によると、28年度からは実質公債費比率が24%を超え、30年度には早期健全化団体となる25%を超える試算が出ているが、府が早期健全化団体となった場合の本市への影響は？
答 早期健全化基準への転落回避には、多額の減債基金への積み立てが必要となるため、法令等に基づかず、府が独自で行っている補助金等の削減・縮小などが行われることも予想され、その結果、市民サービス及び本市の財政にさまざまな影響が与えられる可能性がある。

セーフティネットをつなぐ生活保護について

問 生活保護費をキャンセル等を使用し、指導しても改善がな

道路・交通網の充実に

問 大阪モノレール南伸に伴う周辺整備への見解は？
答 南伸が実現すると、新たに門真南駅が交通結節点となり、本市の南部地域の発展につながると期待している。同駅周辺は都市計画マスタープランにおいて重要な整備ゾーンとして位置づけられており、浄化センターの土地活用も視野に入れた駅周辺の土地利用について検討していく。

児童・生徒の確かな学力の育成

問 少人数学級及び学校内での校長、教頭以外のミドルリーダーの育成への見解は？
答 児童・生徒一人一人にきめ細かな指導を行うことにより確かな学力の定着を図るため、現在、小学校1、2年生で実施している35人学級を他の学年にも拡充する方向で検討しており、26年度の制度開始を目指している。また、教職経験7、8年目の教職員を対象に、学校組織の中核を担うための資質や能力、



門真市民クラブ

質問者 木津 英之
田伏 幹夫
日高 哲生

指導力の向上を図るため、組織マネジメント等の内容でミドルリーダー育成研修を実施しており、今後も育成に努めていく。

障がい者(児)福祉の充実に

問 障がい者(児)の就労実現に向けての本市の取り組みは？
答 障がい福祉課及び市内2カ所の障がい者相談支援事業所で相談を受けており、就労可能な障がい者には、ハローワークや北河内西障害者就業・生活支援センターわーくぶらすと連携し、就労支援を行っている。

まちの顔づくりについて

問 旧北小学校跡地周辺地域の今後のまちづくりへの見解は？
答 災害に強いまちづくりを図るため、周辺密集市街地と一体的な整備に向け、調査検討する。

■施政方針に対する代表質問の要旨 (大会派・公党順)

公明党 平岡久美子

- 1 行財政改革と公民協働について
(1) 効率的な行財政改革について
(2) 市民公益活動の促進について
(3) 住基カードの利用促進について
- 2 教育について
(1) 教育力の向上について
(2) 教育環境の充実について
(3) いじめ対策について
(4) 学校施設の充実について
(5) 通学路の安全対策について
(6) 発達障がい児の支援について
(7) 市立幼稚園の今後の取り組みについて
- 3 子育て支援について
(1) 乳幼児等医療助成制度について
(2) 待機児童の解消について
(3) 認定こども園について
(4) 子育て支援環境の充実について
(5) 児童虐待について
(6) こども発達支援センター整備事業について
- 4 安全・安心なまちづくりについて
(1) 幸福町・垣内町・中町地区のまちづくりについて
(2) 門真団地の建てかえと北島地区を中心としたまちづくりについて
(3) 防災・減災対策について
(4) 防犯対策について
(5) 仮称「門真市まちづくり基本条例」について
(6) 自転車対策について
- 5 人が輝く文化薫るまちづくりについて
(1) 男女共同参画社会の推進について
(2) 生涯学習環境の充実について
(3) 市民スポーツの振興について
(4) 地域文化の保存と継承について
- 6 健康福祉と支え合う社会の実現について
(1) 社会保障制度の適正な運営について
(2) 障がい者(児)福祉と自立支援について
(3) 高齢者福祉の充実について
(4) 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種と妊婦健診の拡充について
- 7 環境保全と産業振興について
(1) 仮称「門真市環境基本条例」とPM2.5について
(2) 低炭素社会の実現について
(3) 産業振興の推進と雇用促進について
- 8 市制施行50周年について

日本共産党 福田 英彦

- 1 市長の政治姿勢について
(1) 自公政権に対する認識について
(2) 門真の形を変える「大阪都構想」について
(3) 「幸福度の向上」について
(4) 市民本位の行財政運営について
- 2 市民の暮らしを守る施策について
(1) 国民健康保険事業の充実について
(2) 安心して暮らせる高齢者・障がい者施策の充実について
(3) 労働環境の向上について
- 3 中小商工業及び農業の振興施策について
(1) 中小商工業の振興施策の充実について
(2) 門真レンコンを初めとした農業振興施策について
- 4 まちづくりについて

- (1) 地震・ゲリラ豪雨など災害に強いまちづくりについて
- (2) 中町地区、幸福町・垣内町地区のまちづくりについて
- (3) 地域合意で進める北島地区のまちづくりについて
- (4) 府営住宅の建てかえについて
- (5) まちづくり基本条例について
- 5 誰もが安心して育つ子育てと教育について
(1) いじめ、体罰問題の現状と対応について
(2) 小・中学校での少人数学級など「確かな学力」の向上施策について
(3) 小学校統合(廃校)など学校適正配置実施方針の抜本的見直しについて
(4) 大阪府教育2条例に対する基本姿勢について
(5) 保育所増設での待機児童解消を初めとした子育て支援策について
(6) 特別支援教育の充実について

緑風クラブ 五味 聖二

- 1 園部市長の来期に向けた決意と市制50周年に当たり、市長の今後の展望と門真の未来像について
- 2 本市を取り巻く情勢と展望について
(1) 「大阪都」構想に対する現状と今後の対応について
- 3 市民公益活動の促進について
(1) 出前講座の主な内容について
(2) 「かどま市民大学」について
- 4 効率的、効果的な行政運営について
(1) 職員数の増員に対する本市の考えについて
(2) 職員研修のあり方について
- 5 援助が必要な家庭の支援について
(1) 児童虐待について
(2) オレンジリボンキャンペーンの事業内容について
- 6 青少年の健全育成について
(1) 青少年活動センターについて
- 7 学校施設の充実について
(1) 食育に対する本市の考え方について
- 8 防犯対策について
(1) 犯罪件数の激減についての分析と警察の見解について
(2) 公用車による犯罪に対する注意喚起について
- 9 危機管理と災害時対策について
(1) 「門真市地域防災計画」の取り組みについて
(2) 公共施設へのソーラーパネル設置について
- 10 まちの顔づくりについて
(1) 門真プラザ建てかえについて
- 11 住宅・住環境の整備について
(1) 老朽住宅建てかえについて
- 12 市民スポーツの振興について
(1) 本市の今後のスポーツ振興への考え方について
(2) レクリエーションへの考え方について
- 13 障がい者(児)福祉の充実について
(1) 障がい者(児)への充実策と「発達障がい児サポートコーチ」について
- 14 生活保障と自立支援対策について
(1) 不正受給の取り締まりの強化と部局の設置について
- 15 うるおいづくりについて
(1) 水路や河川に対する本市の思いについて
(2) 北島地区の水路の整備について
- 16 「ガラスケ」について

自由民主党 土山 重樹

- 1 大阪都構想について
(1) 門真市にとっての都構想について
- 2 財政について

- (1) 減債基金の状況と府の財政の影響について
- 3 幸福度の向上について
(1) 職員への浸透について
- 4 教育について
(1) 家庭の理解を深めることについて
(2) まちの顔づくりについて
- 5 変化を感じ取れるまちづくりについて
(1) 男女共同参画社会について
(2) 実動段階へのステップアップについて
- 7 障がい児の福祉について
(1) 障がい児をもつ家庭について
- 8 生活保護行政について
(1) セーフティネットとしての生活保護について
- 9 公正、公平な行政について
(1) しがらみのない行政について

門真市民クラブ 木津 英之

- 1 みんなの協働でつくる地域力のあるまちについて
(1) 市民公益活動の促進について
(2) 市役所組織の改善について
(3) 効率的、効果的な行政運営について
- 2 将来を担う子どもが育つ教育力のあるまちについて
(1) 児童・生徒の確かな学力の育成について
- 3 安全・安心で快適に暮らせる明るいまちについて
(1) まちの顔づくりについて
(2) 快適に暮らせる生活基盤の整備について
(3) 道路・交通網の充実にについて
- 4 健やかな笑顔あふれる支えあいまちについて
(1) 地域福祉の推進について
(2) 障がい者(児)福祉の充実について
- 5 環境と調和し、産業が栄える活力のあるまちについて
(1) 既存産業を活かした産業活性化環境の形成について
(2) 労働環境の向上について

■市政に対する一般質問の要旨

戸田 久和(無所属)

- 1 施政方針について
(1) 園部市政2期の功罪評価について
(2) 脱原発・脱関電施策など先進施策の自覚と継続拡充について
(3) 本市消滅直結の「大阪都構想」やその推進勢力(維新・宮本府議一派)と断固闘って門真市を守り発展させる決意について
- 2 一部の自治会や校区福祉委員会の問題点について
(1) 自治会規約の把握状況や対応に問題のある自治会について
(2) 脇田校区自治連会長や市自治連会長らが同校区福祉委員会等から特定自治会を不当に排除せんとした問題について
- 3 中央小解体工事問題での関係企業調査について
(1) 金川建設やイケダ社等に対する調査内容と進展状況について
- 4 1枚1万5000円弱のコンビニ住民票など税金浪費事業と人事・事業評価について
(1) コンビニ発行住民票は2月段階で「1枚1万5000円弱」にもついている税金浪費事業の典型であることにについて
(2) 「人事評価で検討評価する」と議会答弁されたが、全く検討された様子がなく、うそ答弁に等しいことについて

政治倫理の確立に向け

議員政治倫理
条例を制定

門真市議会議員の政治倫理に

関する規律の基本事項を定めることにより、議員の政治倫理の意識の向上及び確立に努め、もって健全で民主的な市政の発展に寄与することを目的として、門真市議会議員政治倫理条例の制定についてが、議員提出議案第3号及び第4号（第3号に、市民の審査請求の権利や審査会

委員への学識経験者の参加を加えた内容）として、3月22日の本会議において提案され、両案に対し、各議員から質疑、答弁がありました。

両案の採決に当たっては、反対・賛成それぞれの立場から討論がありました。第3号を賛成多数で原案のとおり可決し、その結果、第4号は議決不要となりました。

なお、本条例の施行日は25年4月1日となっております。また条例で規定の遵守すべき政治倫理基準は左記のとおりです。

4月8日以降、本市議会議員の迂回寄付による税還付について新聞等で報じられました。

本市議会といたしましては、法的に問題はないとしても、道義的に問題のあるものとして重く受け止め、市民の信頼回復に努めてまいります。

補正予算を可決

平成24年度門真市一般会計補正予算（第9号）は、既定の歳入歳出予算にそれぞれ18億1357万3000円を追加し、予算総額を603億9447万6000円とするもので、本案は関係各常任委員会に分割付託し、慎重に審査しました。

建設文教常任委員会では、中町地区整備事業の老朽建築物等買収補償費追加分14億4659万6000円が計上されていることから、同補償費の概要をた

だしたところ、市役所周辺の再整備に伴う旧ダイエー建築物の北側部分の店舗棟などへの補償費で、旧ダイエー建築物への補償総額は、約30億円の予定であるとのことでした。

なお、当該建築物は、22年6月に、当該地区のまちづくり協議会に参加している開発会社が、ダイエーから取得したものであるとのことでした。

これに対し、一般の市民等が知らない情報を知り得る立場にある開発会社が、当該建築物を取得し、約30億円の補償を受けるのは法的には問題はないが、道義的に問題があるのではないかとたまたしたところ、国の制度を活用し、安全・安心なまちづくりを強く推進していかなければならないと考えている。当該建築物への補償額は、国の住宅市街地総合整備事業の建物補償の制度により算出したことや、同制度は国のホームページにも掲載されていること、開発会社とダイエーの売買は、本市が関与できない民間事業者間の売買であることから、問題はないと考えているとのことでした。

本案は、委員会では、反対の討論があり、賛成少数で否決すべきものと決したものの、本会議では、反対・賛成の討論の後、賛成多数で可決しました。

乳幼児等医療費（入院）
小学校6年生まで

一部助成を拡充

案されたものです。

門真市乳幼児等の医療費の助成に関する条例の一部改正については、25年10月から、乳幼児等医療助成制度の入院医療費の一部助成の対象者について、現行の小学校3年生までを6年生までに拡充することにより、同制度の一層の充実を図るため提

第1回定例会で審議された案件と議決結果

議 案 名		会 派 名 義 員 名						公 明 党			日本共産党		緑風クラブ		自由民主党		クラブ		所 属	議 決 結 果					
		武田 朋久	岡本 宗城	内海 武寿	高橋 嘉子	春田 清子	平岡久美子	鳥谷 信夫	豊北 裕子	井上まり子	福田 英彦	亀井 淳	大倉 基文	五味 聖二	今田 哲哉	吉水 文晴	中道 茂	土山 重樹	佐藤 親太		木津 英之	田伏 幹夫	日高 哲生	戸田 久和	
報 告	専決処分の報告について（和解又は損害賠償額の決定について）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要	
条 例	附属機関に関する条例の全部改正について／門真市立こども発達支援センター条例の制定について／門真市情報公開条例の一部改正について／議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について／門真市職員の旅費に関する条例の一部改正について／門真市税条例の一部改正について／門真市乳幼児等の医療費の助成に関する条例の一部改正について／門真市老人医療費の助成に関する条例の一部改正について／門真市障害程度区分等認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部改正について／門真市障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業に係る費用負担に関する条例の一部改正について／門真市難病患者等に対する日常生活用具の給付に係る費用負担に関する条例の一部改正について／門真市保健福祉センター条例の一部改正について／門真市国民健康保険条例の一部改正について／門真市営住宅条例の一部改正について／門真市防災会議条例の一部改正について／門真市消防団条例の一部改正について／門真市国民健康保険条例の一部改正について／一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	（議長につき、採決に参加なし）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
補正予算	平成24年度門真市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
当初予算	平成25年度門真市公共下水道事業特別会計予算／平成25年度門真市都市開発資金特別会計予算／平成25年度門真市公共用地先行取得事業特別会計予算／平成25年度門真市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成25年度門真市一般会計予算／平成25年度門真市国民健康保険事業特別会計予算／平成25年度門真市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
議員提出	門真市議会委員会条例の一部改正について／門真市議政務調査費の交付に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議 案	第3号 門真市議会議員政治倫理条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第4号 門真市議会議員政治倫理条例の制定について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要

※表の見方 『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議会のあゆみ

（平成25年2月1日～4月30日）

- 2・1 門真市都市計画審議会
- 4 大阪府市議会議長会理事會
- 6 全国市議会議長会評議員會
- 8 河北市議会議長會議員合同研修會
- 18 東部大阪治水対策促進議會協議會常任委員會・總會
- 18 全国高速自動車道市議會協議會理事會・定期總會
- 26 19 議會運営委員會
- 3・1 大阪府市議会議長會理事會・總會・新正副會長
- 7 議會運営委員會
- 7 議會運営委員會
- 8 一般質問
- 7 本會議（代表質問）
- 8 本會議（代表質問・一般質問）
- 11 民生常任委員會
- 11 建設文教常任委員會
- 13 議會運営委員會
- 14 議會運営委員會
- 15 總務水道常任委員會
- 22 本會議（第1回定例会閉會）
- 26 守口市門真市消防組合議定例會
- 26 飯盛靈園組合議定例會
- 27 くすのき広域連合議定例會
- 4・9 大阪府市議会議長會新正副會長會
- 26 近畿市議會議長會定期總會前理事會・定期總會

会派名称の変更

25年2月1日付で「自由民主党新政クラブ」は「自由民主党」へと会派名称を変更されました。